



沢山 美果子
(岡山大学)

岡山大学大学院社会文化科学研究科客員研究員。専門分野は歴史学(女性史)。主な著書に『出産と身体の近世』(勁草書房、1998年、第14回女性史青山賞受賞)『性と生殖の近世』(勁草書房、2005年)『江戸の捨て子たち』(吉川弘文館、2008年)『近代家族と子育て』(吉川弘文館、2013年)。

Profil



大塩 まゆみ
(龍谷大学)

龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻教授。専門分野は社会福祉学、高齢者福祉論、福祉政策。主な著書に『家族手当の研究—児童手当から家族政策を展望する—』(法律文化社、1996年)『「陰徳の豪商」の救貧思想』(ミネルヴァ書房、2012年)『子どもの貧困/不利/困難を考えるII』(共編著)(ミネルヴァ書房、2015年)。



藤田 菜々子
(名古屋市立大学)

名古屋市立大学大学院経済学研究科教授。専門分野は経済学史、制度経済学。主な著書に『ミューダールの経済学—福祉国家から福祉世界へ』(NTT出版、2010年、経済学史学会第8回研究奨励賞受賞)『ミューダール—福祉・発展・制度』(G. ミューダール著・藤田菜々子訳)(ミネルヴァ書房、2015年)。

Profil



杉田 菜穂
(大阪市立大学)

大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。専門分野は社会政策、人口問題。主な著書に『人口・家族・生命と社会政策—日本の経験—』(法律文化社、2010年)『<優生>・<優境>と社会政策—人口問題の日本的展開—』(法律文化社、2013年)。

Reitaku University

日本人口学会 第68回大会

Population Association of Japan

日本人口学会

Linking Past to Present

麗澤大学 2016.6.11~12

人口にご関心のある皆様には、学会セッションにもオブザーバーとしてご参加いただけます！

● 非会員参加費：1,000円 (学部生は学生証提示で無料)

日本が直面する人口問題に迫る様々なセッションがあります。

- 地域特性や個別環境による出生率格差を考える
- 持続可能な開発目標(SDGs)と人口開発問題のゆくえ
- 未婚者の現在と将来
- セクシュアル・マイノリティに関する人口学的研究
- Marriage and Family Building in Historical and Contemporary East Asia

● プログラムの詳細

「日本人口学会第68回大会」で検索し、ご確認ください。
<http://www.paoj.org/taikai/taikai2016/>

● お申込みはWEBで

「麗澤大学」で検索し、新着情報の「イベント 日本人口学会第68回大会を開催」よりお申し込みください。

<http://www.reitaku-u.ac.jp/>

申込期間：5月18日(水)～6月8日(水)